

小・1年生

題材名：「げんきもりもりやさしいパワーのひみつ」



学級活動

食育の視点



食事の重要性

心身の健康

食品を選択する能力

食文化

社会性

感謝の心

本時の目標： ○野菜の働きについて理解する。
○いろいろな野菜をすすんで食べる意欲を持つ。
⇒食に関わる資質・能力：(知識及び技能) (学びに向かう力, 人間性等)

		指導上の留意点(○は教師からの発問)	
		T1(学級担任)	T2(栄養教諭・学校栄養職員)
導入	○昨日と一昨日の給食の残食の写真を見て、気づいたことを発表しましょう。 ICT 活用(写真) ・野菜のおかずが多く残ることに気付かせる。		
	○残食が多いのに野菜が毎日給食に出る理由を考え、発表しましょう。 ・何人かの児童に発表させる。 ○給食の献立を考えている栄養教諭・学校栄養職員の先生に、なぜ野菜が毎日給食に使われているのか聞いてみましょう。		
展開		やさしいのひみつをしろう	
	○野菜には、どんなひみつがあるのでしょうか。栄養教諭・学校栄養職員の先生に詳しく教えてください。 ○1回の食事で食べた方がいい野菜の量は、どのくらいだと思いますか。 ・野菜をのせた皿(それぞれ重量を変える)を3種類用意し、児童に挙手で選ばせる。		<ul style="list-style-type: none"> 野菜には、みんなをげんきもりもりにしてくれるひみつのパワーがあるため、給食にいろいろな野菜を使っていることを知らせる。 野菜のひみつについて説明する。 <ul style="list-style-type: none"> ひ・・・ひふやからだをつよくなる ⇒はだがつやつやになる, かぜをひきにくくする み・・・みどりのおたすけマン ⇒肉や魚, 米など, 他の食べ物の働きを助ける つ・・・つまらずうんちがでる ⇒いいうんちが出る 正解を発表し, 1回の給食に使われている野菜の量を提示する。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 正解を栄養教諭・学校栄養職員に教えてもらう。 	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>当日の給食に使用する野菜を見せることで、残さず食べようという意欲付けにつなげる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 給食では、栄養のバランスを考えていろいろな野菜を使っていること、ご飯も肉も魚も野菜も残さずに食べてほしいと願いながら給食を作っていることを知らせる。 <p>ICT活用 (調理風景の動画等)</p>
<p>終末 ○これから給食を食べる時のめあてをワークシートにまとめましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 机間指導をして、次回への意欲を持たせる。

評価

- ・ 野菜の働きを理解できたか。(知識・技能)
- ・ いろいろな野菜をすすんで食べようとする意欲を持つことができたか。(主体的に学習に取り組む態度)



板書計画

やさいのひみつをしろう

残食の写真①
または **ICT** 活用

残食の写真②
または **ICT** 活用

どうしてきゅうしょくにやさいがでるのだろう?
(児童の発言)

- ・ からだにいいから
- ・ にくやさかなだけだとバランスがわるいから
- ・ やさいをたべないとびょうきになるから 等

やさいのひみつ

ひ

ひふやからだをつよくなる

月

み

みどりのおたすけマン

日

つ

つまらずうんちがでる

日

直

<ワークシートに記入する項目例>

- ・ 野菜のひみつ
- ・ 給食を食べる時のめあて
- ・ 担任のコメント欄
- ・ 家族のコメント欄

<参考資料>

- ・ 野菜のひみつカード
- ・ 野菜
- ・ ワークシート

給食時間での指導

- ・ すぐに完食を目指すのではなく、苦手な食べ物も少しずつ食べられるようになればいいということを伝え、チャレンジしやすい雰囲気をつくる。

他教科との関連

- ・ 生活「がっこうだいすき」
(東京書籍)

家庭との連携

- ・ ワークシートに家族のコメント欄を設け、家庭と連携して苦手な野菜を食べられるように働きかける。